

授業評価アンケート結果とその考察：

「英語学概論 (2007 年度前期)」

英語教育講座・秋山正宏

「英語学概論」は、学校教員養成課程(英語専修を含む)の英語教員免許状取得希望学生にとっての選択科目である。¹「授業の目標」および到達目標は以下の通りである。

授業の目標

英語教師を目指す諸君に、英語という言語が持つ特徴および一般的に人間の言語が持つ特徴についての理解を深めてもらう。

到達目標

英語教師に必要な英語学および言語学の基礎知識を身につける。

具体的には、英語学、より一般的には言語学の中核的下位分野である形態論、統語論、意味論について、以下に挙げる基礎的な内容を学んだ(後述する持ち帰りワークシートで充当する回は除く)。

- 第 1 回 言語学, 英語学, 日本語学のすすめ
- 第 2 回 形態論 1: 形態素と異形態
- 第 3 回 形態論 2: 派生
- 第 4 回 形態論 3: 屈折
- 第 5 回 統語論 1: 語のレベルの範疇 (品詞分類)
- 第 6 回 統語論 2: 節の構造と句のレベルの範疇 (その 1)
- 第 7 回 統語論 3: 節の構造と句のレベルの範疇 (その 2)
- 第 8 回 統語論 4: 変形規則の必要性
- 第 9 回 統語論 5: do による支え
- 第 10 回 形態論 4: 複合語形成
- 第 11 回 意味論 1: 語と語の間の意味関係
- 第 12 回 意味論 2: 文と文の間の意味関係
- 第 13 回 意味論 3: 語の意味とその拡がり
- 第 14 回 意味論 4: 語の意味と日常言語とレトリック

形態論 4 が統語論 1-5 の後に行なわれているが、これは取り扱う内容が統語論で扱う内容を踏まえたものになっているからである。講義タイトルが「英語学概論」であるので、主として英語の言語事実の分析を通して授業が進められたが、形態論、意味論については受講者及び担当者の母語である日本語のデータも可能な限り扱うよう努めた。なお 3 年次後期の「日英語比較論」との兼ね合いもあり、統語論についてはあえて日本語の言語事実を取り上げなかった。また授業は全て担当者自作のワークシートに基づいて進められた。成績評価には、持ち帰りのワークシートを使用した。授業評価アンケートは、最終回授業時に行なった(回答者は 15 名)。今回は、アンケートの結果を公表し、その結果について、若干の解釈と考察を加えたい。

A この授業へのあなたの出席状況は、どうでしたか。

- 1. 悪い (0/15)
 - 2. あまり良くない (0/15)
 - 3. 普通 (1/15)
 - 4. 良い (6/15)
 - 5. 非常に良い (8/15)
- 平均値 4.47

B あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

- 1. 全く意欲がわかなかった (0/15)
 - 2. あまり意欲的に取り組まなかった (1/15)
 - 3. どちらとも言えない (4/15)
 - 4. やや意欲的に取り組んだ (9/15)
 - 5. 非常に意欲的に取り組んだ (1/15)
- 平均値 3.67

C この授業で使われたワークシートについてお尋ねします。

C-1 全般的に言って、ワークシートの作業の難易度についてどう思いますか。

- 1. 非常に難しかった (0/15)
- 2. やや難しかった (7/15)

¹ これは 2006 年度入学生にまで適用されるカリキュラムでの位置づけである。

3. ちょうどよい (7/15)
 4. 比較的やさしかった (1/15)
 5. 非常にやさしかった (0/15)
- 平均値 2.60

C-2 それぞれのワークシートの種類、難易度に左右される部分が多いと思いますが、全般的に言ってワークシートに沿ったかたちで進められた担当教員の話は分かりやすかったですか。

1. 非常に分かりにくかった (0/15)
 2. やや分かりにくかった (1/15)
 3. どちらとも言えない (1/15)
 4. 比較的分かりやすかった (9/15)
 5. 非常に分かりやすかった (4/15)
- 平均値 4.07

C-3 ワークシートの作業から学んだ内容およびそれに関連する担当教員の話は、(難易度は別にして)あなたにとっておもしろい(知的好奇心をくすぐる、といった意味で)ものでしたか。

1. 全くおもしろくなかった (0/15)
 2. あまりおもしろくなかった (0/15)
 3. どちらともいえない (4/15)
 4. 比較のおもしろかった (11/15)
 5. 非常におもしろかった (0/15)
- 平均値 3.73

D この授業の担当教員に関してお尋ねします。

D-1 担当教員は、受講者にとって参加しやすく、かつわかりやすい授業を行おうとする努力、工夫をしているように感じられましたか。

1. 全く感じられなかった (0/15)
 2. あまり感じられなかった (0/15)
 3. どちらとも言えない (5/15)
 4. 比較的強く感じられた (9/15)
 5. 非常に強く感じられた (1/15)
- 平均値 3.73

D-2 担当教員は、受講者の意見や疑問をくみ取り、かつそうした意見や疑問に真摯に答えようとしているように感じられましたか。

1. 全く感じられなかった (0/15)
 2. あまり感じられなかった (0/15)
 3. どちらとも言えない (0/15)
 4. 比較的強く感じられた (10/15)
 5. 非常に強く感じられた (5/15)
- 平均値 4.33

E あなたは、この授業を通して、外国語としての英語、あるいはより一般的に人間の言

語が持つ規則性に興味・関心が向くようになりましたか。

1. 全くそういった興味・関心が持てなかった (0/15)
 2. あまりそういった興味・関心が持てなかった (0/15)
 3. どちらとも言えない (2/15)
 4. そういった興味・関心をやや持つようになった (11/15)
 5. そういった興味・関心を非常に強く持つようになった (2/15)
- 平均値: 4.00

ワークシートの難易度(C-1, 平均 2.60)についてはほぼ想定した通りである。「わかりやすさ」(C-2, 平均 4.07)については、まずまずの結果と見て良いが、「やや分かりにくかった」とした学生が1名おり、この点は反省すべきである。

「おもしろさ」(C-3, 平均 3.73)についての評価はあまり高いものとは言えず、受講学生の知的好奇心をくすぐる工夫がなされるべきであると感じた。ただ言語の規則性についての興味を喚起することが出来たか(E, 平均4.00)についての評価は、質問 C-3 に対する回答の平均をわずかに上回っており、ある程度言語の規則性についての関心を掻き立てることは出来たようである。受講生側はあまり教員側の工夫(D-1, 平均値 3.73)を高く評価していないようであるが、この点に対して肯定的ないしは否定的な評価を行うことは難しいだろう。質問 D-2 に対する回答の平均値(4.33)が他よりも高いものとなったが、これは今年度の受講生が比較的頻繁に出席カードに質問、意見を記入していたことを反映するものであろう。自由記述欄に記入を行った受講学生は11名であったが、授業及び担当者に対する否定的評価は見られなかった。総合的に見て、この授業に対する受講学生の評価は、まずまずと見て良いのではないだろうか。

この「英語学概論」は2006年度入学生適用のカリキュラムで廃止となり、2007年度入学生適用のカリキュラムからは「英語学 I」として再スタートする。² 今回の授業評価(この授業以外の関連科目も含め)を、新しく始まる科目での授業展開に反映させたい。

² 旧カリキュラムの「英語学概論」, 「統語論・形態論」, 「意味論・語用論」の3科目を統廃合して、「英語学 I」, 「英語学 II」とする。